



# 安心、安全な 全身麻酔の流れ

---

大切なご家族のために、当院ができること



あすなる動物病院



# 麻酔前検査と評価

## まずは全身状態をしっかり把握

-  問診・身体診察が最も大事
-  血液検査・胸部レントゲンなどの検査
-  原則として麻酔の**2週間以内**に実施
-  年齢や状態に合わせた**個別プラン**

※ 処置内容、年齢、性格、負担を考慮し、  
検査内容を省略する場合があります。





## 麻酔前日の家庭での過ごし方



### リラックス

普段通り落ち着いて過ごしましょう。シャンプーは控えてください。



### 夜12時まで

**絶食（ごはん抜き）**を開始。食器は片付けてください。



### お水はOK

当日朝まで飲んでも大丈夫です。脱水を防ぎましょう。

**!** 幼若動物や超小型犬は、絶食時間を短縮する場合があります。



## 麻酔当日の家庭での過ごし方

- ❌ 絶食を継続（お水は与えてもOK）
- 💧 持病のお薬（心臓・てんかん）は投薬  
それ以外は獣医師に相談
- 🚶 軽いお散歩・排泄はOK
- 🕒 問診表を記入し**午前9時**にご来院ください

誤って食べてしまった場合や体調の悪い場合は、必ず来院前にご連絡ください！





# 来院後の確認・お預かり

## 当日の最終チェック

-  問診表の内容確認
-  受付時に当日の体調確認を行ったうえで、愛玩動物看護師がお預かり
-  預かり後、獣医師によるダブルチェック

「不安なことやご不明点は、遠慮なくお尋ねください。担当スタッフが丁寧にお答えします。」





## 麻酔までの準備



### 安全のためのルート確保

-  静脈留置（細い管）の設置
-  状態に応じた点滴（輸液）の開始
-  ストレス軽減のための鎮静薬使用

心臓や腎臓、脱水状態を考慮して慎重に準備します。



## 麻酔前投与（鎮静薬と鎮痛薬の投与）



### 不安の緩和

緊張を和らげ、円滑な麻酔導入を助けます。



### 痛みの軽減

手術前から鎮痛薬を使い、術後の痛みを抑えます  
（先制鎮痛）。



### 負担の軽減

麻酔薬の使用量を減らし、  
体への負担を最小限に。

使用薬剤は、動物の状態や予定される手術や処置内容に応じて個別に選択



## 麻酔導入（睡眠への導入）

### ゆっくりと深い眠りへ

-  酸素吸入をあらかじめ開始
-  少量の静脈麻酔薬を慎重に投与
-  気管チューブで呼吸を確実に管理

獣医師が状態を注意深く観察しながら、  
安全性を最優先に慎重に行います。





# 麻酔維持（麻酔中の綿密なモニタリング）

## 酸素と吸入麻酔薬で麻酔状態を維持

- ↑ 生体モニタで常に監視
- 🔄 複数の鎮痛方法を組み合わせる

### 「マルチモーダル鎮痛」

手術中は担当獣医師が常時モニターを確認し、**麻酔記録**を残します。わずかな変化も見逃さず、迅速に対応します。



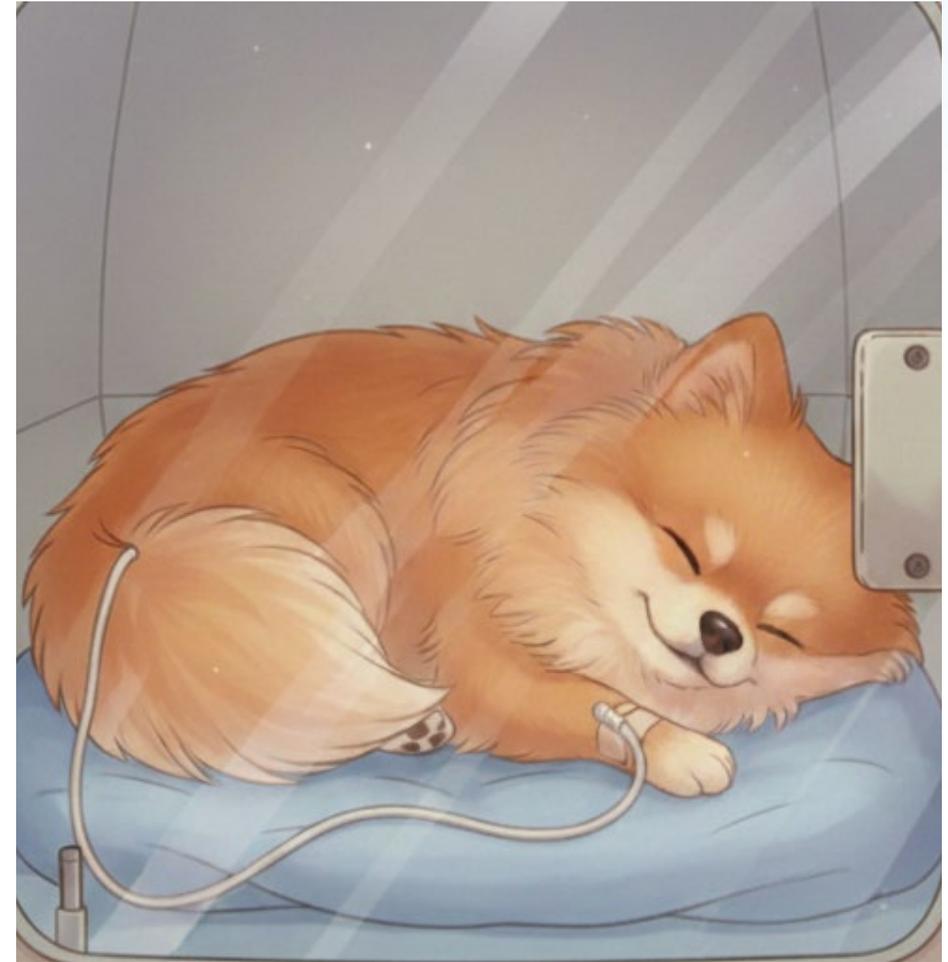


## 麻酔覚醒（目覚めのケア）

安全で円滑に目覚めるために

-  **加温装置**で体温の回復を促進
-  自発呼吸を確認して気管チューブを抜去
-  **姿勢を保てるまで**継続して監視

覚醒時の興奮にも、鎮静・鎮痛薬で対応します。





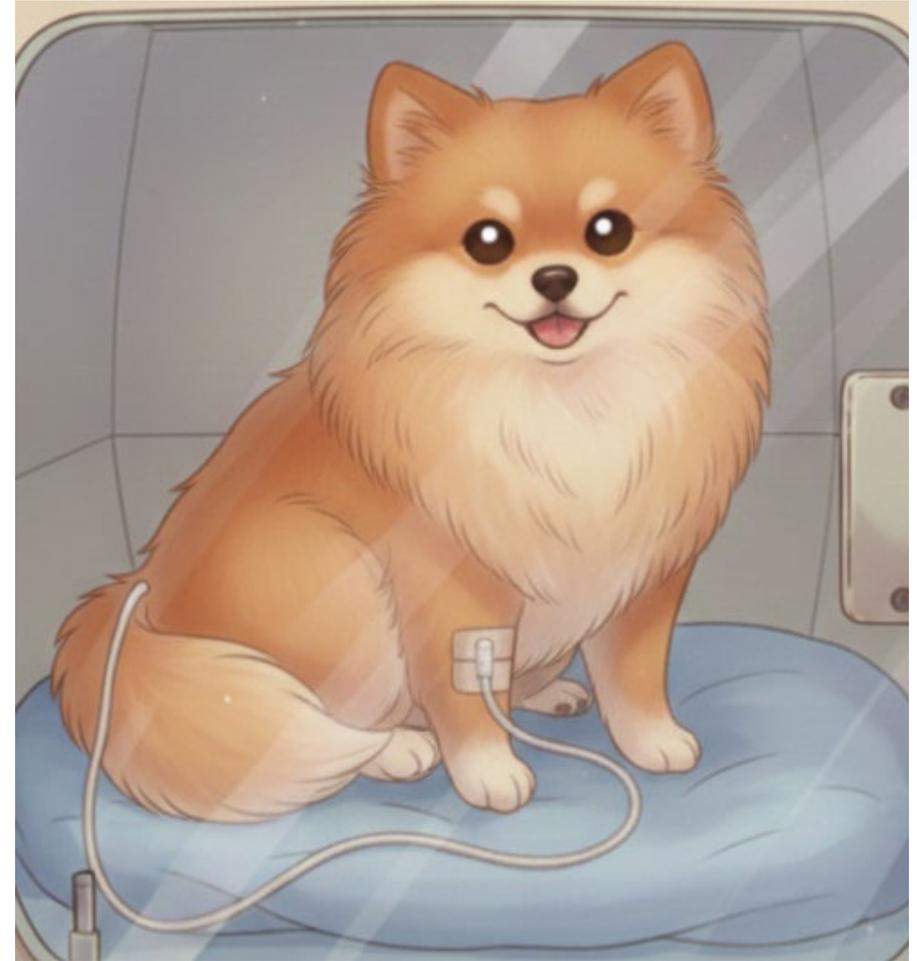
## 手術後の疼痛管理

### 「痛み」を抑えると、回復を早める

手術が終わった後も、動物の表情や動作を注意深く観察。最適な鎮痛処置を継続します。

 ペインスケール（痛みの客観的評価法）  
を利用

 必要に応じた追加の痛み止め



# ご不明な点は いつでもご相談ください



あすなる動物病院



support@wandream-vet.com

